



北海道大学病院
オンライン市民公開講座



デジタルヘルスが 切り拓く未来

～高血圧・脳卒中の予防と治療、遠隔医療への応用～

配信期間

2023.2.17(金) → 2.23(木・祝)

視聴方法

インターネット (YouTube) にて配信いたします。
お申し込み後、URLをメールにて発行いたします。

申込方法

事前のお申し込みが必要です。

どなたでも
ご参加
いただけます。
(定員200名)

視聴は無料
事前登録が
必要です。

申込締切

2023.2.23(木・祝)

下記URL、または右のQRコードよりお申し込みください。

<https://hokudai.doorkeeper.jp/events/146681>



主催



北海道大学病院
HOKKAIDO UNIVERSITY HOSPITAL

事務局

北海道大学病院 医療・ヘルスサイエンス研究開発機構 教育・研修委員会

お問い合わせ

MAIL : crmic_edu@pop.med.hokudai.ac.jp

後援

北海道、札幌市、北海道新聞社、読売新聞北海道支社

<https://helios.huhp.hokudai.ac.jp/>

1 開会の挨拶 渥美 達也(北海道大学病院長)

2 講演① 「高血圧予防のためのデジタルヘルスの活用」 25分
横田 卓(北海道大学病院 医療・ヘルスサイエンス研究開発機構 特任講師)
宮寺 伸明(株式会社ORSO 執行役員/北海道大学COI-NEXT チーフデジタルオフィサー)3 講演② 「ICTを用いた脳卒中の医療連携～発症から維持期・在宅まで～」 20分
長内 俊也(北海道大学病院 脳神経外科 講師)4 講演③ 「ロボットを用いた遠隔医療の可能性」 20分
馬詰 武(北海道大学病院 産科 講師)5 パネルディスカッション 「デジタルヘルスの普及へ向けた取り組みと課題」 20分
<司会・進行>横田 卓(北海道大学病院 医療・ヘルスサイエンス研究開発機構 特任講師)
<パネリスト>長内 俊也・馬詰 武・宮寺 伸明6 開会の挨拶 佐藤 典宏 (北海道大学病院 病院長補佐[臨床研究中核病院、産学官連携、研究支援担当]/
医療・ヘルスサイエンス研究開発機構長)講演
1北海道大学病院
医療・ヘルスサイエンス研究開発機構
特任講師

横田 卓

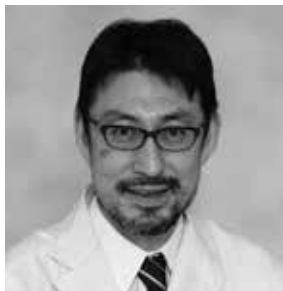
ヨコタ タカシ

1998年北海道大学医学部卒。循環器内科医として北大病院など道内の医療機関で診療・研究に従事した後、2011年よりデンマーク・コペンハーゲン大学医学部に勤務。帰国後、産学連携プロジェクトとしてデジタルヘルス・予防医学に関する研究を開始し、2019年より現職。

所属学会 日本内科学会 総合内科専門医、日本循環器学会 循環器専門医、
など 日本心臓リハビリテーション学会 評議員・心臓リハビリテーション認定医、日本スポーツ協会公認スポーツドクターなど講演
1株式会社ORSO 執行役員/
北海道大学COI-NEXT
チーフデジタルオフィサー

宮寺 伸明

ミヤデラ ノブアキ

2007年 株式会社ORSO入社。
ソーシャルゲーム事業部長を経て、新規事業としてヘルスケアアプリ事業を立ち上げる。現在、大学や地域と連携したデジタルビジネス共創事業を企業の立場から推進中。2020年より北海道大学 産学連携研究員を兼務。講演
2北海道大学病院
脳神経外科
講師

長内 俊也

オサナイ トシヤ

2002年旭川医科大学医学部医学科卒業。北海道大学病院など道内の医療機関で診療・研究に従事した後、2013年より米国クリーブランドクリニックにリサーチフェローとして勤務。帰国後、北海道大学病院脳神経外科に勤務。2022年より北海道大学病院脳卒中ICT医療連携研究部門を兼務。

所属学会 日本脳神経外科学会専門医
など 日本脳卒中学会専門医
日本脳血管内治療指導医講演
3北海道大学病院
産科
講師

馬詰 武

ウマヅメ タケシ

2007年北海道大学卒。2013年から北大病院産科勤務。産学地域推進機構と連携し研究を進め、2021年第三回日本オープンイノベーション大賞学術会議会長賞(内閣府)を受賞。現在も日本科学技術振興機構共創の場形成支援プログラムの研究リーダーとして社会実装研究を進めている。

所属学会 日本産科婦人科学会指導医・専門医
など 日本産科婦人科学会 産科診療ガイドライン産科編2023作成委員等